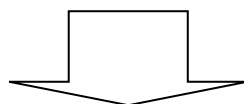


令和4年度 文京区立柳町小学校 授業改善推進プラン 4年

	育てたい力	具体的な授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係などに注意して文章を書く力や、工夫しながら書こうとすること。</li> <li>・基礎・基本の学習を活用すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分の意見やその理由」「条件に合わせた物事の説明」など、目的に応じた短文を書く活動に焦点を絞り、継続して日常的に取り組むようにする。</li> <li>・主体的・対話的で深い学びを意識した単元学習を継続して実施する。特に、読みの単元においては、考えを書いたり友達と話し合ったりする場を必ず取り入れ、考え表現する時間の確保を心がける。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会生活の様子や仕組みなどの基礎的な事項を理解すること。</li> <li>・資料を読み取り、正しい知識を用いて、考察したり表現したりすること。</li> <li>・児童が主体となって学習課題について追及すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活体験や既習事項と比較したり、関連付けたりして理解が深まるよう授業を構成し、教材を工夫する。</li> <li>・グラフ、写真、表など視覚的に分かる資料を提示し、そこから何が読み取れるかについて視点を明確にして考えさせる。</li> <li>・「問題に気付く→学習課題を作る→計画を立て、学習問題を追及する→まとめる」という学習の流れを明確にして、定着できるようにする。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・題意を正しく理解して立式したり、問題を解決した後、それが問題場面に合っているのか確認したりすること。</li> <li>・自分の考えを周囲の友達に、分かりやすく伝えようとしたり自分の考えと比べて聞き、意思表示したりすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・四則計算の意味を確認し、文章題の場面を正しく表現できるようにさせる。また、解決できたら問題場面に当てはめて確認したり検算したりするように繰り返し指導し、解いたら確認するという意識を育む。</li> <li>・自分の考えに自信をもって発表することができるよう、少人数やグループでの交流を行ってから、全体交流の時間をもつ。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験の結果から、結論を導き出すこと。</li> <li>・根拠を示して論理的に表現すること。</li> <li>・学習したことを日常生活に結び付けて考えること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「課題→予想→実験計画→結果→考察」の問題解決の流れが明確になるように、板書やノートをまとめられるようにする。</li> <li>・自分の考えをまとめる時間を確保し、言葉だけでなく絵、表、図で表現できるようにする。</li> <li>・身の回りの事象を、働きや時間などと関係付けて考えることができるようにする。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動を工夫して各種の運動を楽しくできるようにすること。</li> <li>・協力、公正などの態度で運動に取り組むこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の主体的な発言を基にルールを変えたり、技能を向上させる方法を指導したりすることで、運動の機能的特性を味わい、児童主体の学習となるように指導する。</li> <li>・準備・片付けの手順やルールの改善などで指導や話し合いが必要な際は、十分に時間を確保する。</li> </ul>
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳的価値について、自らすすんで考えること。</li> <li>・友達と考えを交わしたり、さらに考えを深めてノートに書いたり、表現したりすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間ごとの教材研究を十分に確保し、児童が主体的に考えようとする発問・展開を準備する。</li> <li>・話し合う時間や全体で共有する時間、ノートなどに思いを書きとめるため、振り返りの時間を、授業の中で必ず取り入れるようにする。</li> </ul>

<p>総合</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 目的に応じて、様々な資料や方法で学習を進め、有効に活用すること。</li> <li>• 適切に ICT を活用し、課題に対して追求すること。</li> <li>• 相手に応じて表現を工夫すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 図書資料、新聞、インターネット、インタビューなどの基本的な利用方法や技能の指導を積極的に授業で取り扱う。</li> <li>• 探求課題について知る場面や調べる場面、まとめる場面、深める場面それぞれで ICT を効果的に活用する。</li> <li>• 伝えたい思いや発表する相手に応じて選択できるよう、発表方法を例示する。</li> </ul>
<p>外国語</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取ること。</li> <li>• 学習した単語や構文を活用し、すすんで会話すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自分の好きな色や食べ物、持ち物など自分の身の回りの物を表す語句を、イラストや写真などを提示しながら聞き取れるようにする。</li> <li>• ゲームや歌、チャンツを通して楽しみながら語句を習得できるようにする。</li> </ul>
<p>音楽</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 曲想と音楽構造の関わりに気付き、表したい音楽表現をするための技能を身に付けること。</li> <li>• 音楽表現を工夫し、どのように表すか思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにすること。</li> <li>• すすんで音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら様々な音楽に親しむこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 授業のねらいを明確にし、旋律、リズム、強弱、速度、音色などと曲想との関わりについて気付くようにする。一人ずつ聴く機会や発表方法を工夫する。また、互いの声や音を常に聴き合うことを意識するようにする。</li> <li>• 音楽を聴いて感じたこと、気付いたことを基に、互いの思いを共有しながら表現の工夫につなげられるようにする。また、曲や演奏のよさを伝えるためにも言語活動を大切にし、児童の発言を生かした言葉や曲想を表す言葉を掲示し、音楽的語彙を増やしていく。</li> <li>• 互いに聴き合ったり、友達と合わせる楽しさを味わえたりする活動を増やす。表現、鑑賞の活動をバランスよく行う。また、器楽ではスモールステップ、発展教材などを用意し、どの児童も意欲的に活動できるようにする。</li> </ul>
<p>図工</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 身近な材料や場所から、自ら造形的な活動を思いつき、表したいイメージをもったり、表し方の工夫を考えたりしながら手や体全体を動かし工夫を重ねること。</li> <li>• 身近にある作品から、造形的なよさや表し方の工夫などを感じ、自分の見方や感じ方を広げること。</li> <li>• 自分の表したいことを見つけ、主体的に表現すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 児童が活動しやすい場の設定を考える。個人でつくるだけでなく、友達と共同で行う造形活動も取り入れていく。</li> <li>• 鑑賞の際、いくつかの視点を提示し、気付きを深め、お互いのよさを認め合うことができるよう指導にあたる。</li> <li>• 発想の補助となるような資料やワークシートを適宜用意する。また、材料との出会い方の工夫をする。</li> </ul>



	成果○ と 課題▼
国語	<p>○自分の考えについて根拠をはっきりさせて、ノートにまとめることができるようになってきた。文章全体をいつも見渡しながらかみ取っていく方法に児童が慣れてきており、大切な叙述にサイドラインを引き、それを手がかりに要約したり、心情の変化をかみ取ったりできるようになった。</p> <p>▼自分の考えをノートには書いているが、意見の交流の方法もペアやグループ、挙手しない児童も良い内容を書いていることもあるので、発表の仕方の工夫が必要だと感じた。</p>
社会	<p>○単元や授業の始めに児童の問いが生まれるように資料を工夫することで、疑問を追究し、すすんで学習に取り組む様子が見られた。</p> <p>○ICT 機器を活用して図や表、資料のどこに着目するか視覚的に明確にしたことで、資料から分かることや考えられることを正しく読み取ることができた。</p> <p>○問題解決型の学習の流れを理解し、児童がより主体的に学習に取り組むことができた。</p> <p>▼特に学習問題に対して調べる場面など、個別最適化の学習を進める上で、児童一人一人の学習状況をよりの確に把握し、支援することが必要である。</p>
算数	<p>○文章題の場面を正しく理解できるよう、大事なところに線を引くことで、立式ができた。</p> <p>○自分の考えに自信をもって発表できるよう、ペアやグループの交流を取り入れることで順序立てて自信をもって説明する力が身に付いた。</p> <p>▼その場では問題解決ができるが、習熟に時間が必要だと感じた。</p>
理科	<p>○1年を通して、実験・観察の記録の仕方や、考察の書き方を同じ方法で取り組んできたので、問題解決の流れを意識できるようになった。自分の考えを書く際、なぜその予想なのか、自分の生活体験や既習事項を重ねて、自分の考えを書くことができる児童が増えてきた。</p> <p>▼実験方法を考える際に様々な方法が思いつく反面、予習等で知識がある児童の複雑な方法に偏ってしまった。実現が難しかったり、意図を理解しきれなかったりし、多くの時数や支援が必要であった。</p>
体育	<p>○チームで練習をしたり、ゲームの作戦を考えたりするなかで、どのようなルールを作ったら全員が楽しめるか話し合い、工夫することができた。</p> <p>○学習カードを使うことで、児童一人一人がめあてをもち、学習の振り返りができた。次時や単元全体を通じて意欲向上につながった。</p> <p>▼個別の課題に対して、どのようにしたらできるようになるかを的確に助言したり、練習方法を提示したりするなど、今後も工夫していく。</p>
道徳	<p>○授業の始めと終わりで敢えて同じ発問をすることで、学習前後の変容を児童が認識し、学びを実感する場面も適宜取り入れることができた。</p> <p>▼指導上の発問や取り組みの中で児童の考えの深まりに手ごたえを感じにくい内容項目もある。また、自分に置き換えて考えたり、価値について深く考えたりすることが難しい児童もいる。考えるきっかけとなる発問や教材の視覚化(板書)などをさらに工夫していく必要がある。</p>
総合	<p>○図書資料や百科事典、新聞、インターネットなど多様な調べ方を取り入れる中で、それぞれの良さや使い分けを工夫する姿が見られた。</p> <p>○ICT 機器の自ら課題解決のために選択するなど、有効な活用場面を見出し、取り入れる姿が見られた。</p> <p>▼タイピングのスキルや画像データの活用など、ICT 機器の活用に必要な児童も多く、意図的計画的な資質能力の育成が必要である。</p>
外国語	<p>○間違えたり、止まってしまったりすることを恐れて受動的になる様子が減り、ジェスチャー等を交えて能動的に友達と関わる姿が増えた。</p> <p>○コミュニケーションの楽しさに気付いたことで、主体的に学習に取り組む様子が増え、基礎的な単語や文を理解することにつながっていた。</p> <p>▼活動を始める際の説明の部分につまずきを抱える児童が多い。ジェスチャーやモデルワークを取り入れ、児童がスムーズに活動に取り組めるようにする必要がある。</p>
音楽	<p>○授業のねらいを明確にすることで、児童の様子やワークシートでのふりかえりを通して個々の到達度と課題を見取ることができた。</p> <p>○歌唱、器楽、鑑賞、音楽づくりと年間を通してバランスの取れた学習内容に取り組むことができた。感染症予防対策を取りながらのリコーダー学習も昨年度よりは充実させることができた。また、グループ活動による音楽づくりや意見交流が有効だった。</p>

	<p>▼個々の歌唱やリコーダーなどの基礎的技術面での指導がまだ行き届いていない。どのように表したいか思いをもたせ、そのための工夫の必要性を児童自身が主体的に感じ取り、生かしていけるような声かけ、指導を心がけていく。</p>
<p>図 工</p>	<p>○展覧会を通して、友だちと協力しながらつくることを楽しむ姿が多く見られた。  ○タブレットをつかった鑑賞など新しい鑑賞の仕方を行った。写真を活用した鑑賞の記録は、児童の視点や気づきをより明確化できた。  ○材料体験は楽しんで感じ取っている姿が見られた。  ▼発想がなかなか湧かない児童への個別の手立てをもう少し豊富にもち、必要に応じて視覚資料などを示せるように準備していく。</p>